

令和6年9月25日

令和6年

第9回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和6年9月25日（水曜日）午後2時から

1 出席委員（5名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
深 澤 佳 己	委 員	

2 出席職員（10名）

教育総務部長	今 井 健太郎
教育総務課長	鈴 木 孝 司
教育施設担当課長	小野澤 行 平
副参事（教育地域力担当）	長 岡 誠
学務課長	高 野 恭 子
指導課長	細 田 真 司
指導企画担当課長	木 下 健太郎
学校支援担当課長	鈴 木 啓 介
教育センター所長	早 田 由香吏
大田図書館長	後 藤 清

3 日程

日程第1 教育長の報告事項

(午後 2 時 00 分開会)

○教育長

それでは、ただいまから、令和 6 年第 9 回大田区教育委員会定例会を開会いたします。
なお、北内委員につきましては、あらかじめ本日欠席の届出がありましたので、ご報告いたします。

本日は、傍聴希望者がおります。

委員の皆様には傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

本日は、大田区教育委員会傍聴規則第 7 条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または、拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に三留委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

続いて、本日の日程第 1 について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第 1 は、「教育長の報告事項」でございます。

○教育長

私、本日は 2 点、報告いたします。

1 点目は、9 月 21 日土曜日に行われた石川台中学校の開校 70 周年の式典についてです。
石川台中学校は、世田谷区と境を接するところにあります。区内では大変に落ち着いた校風と伝統のある学校だというふうに伺っています。

式典当日は、1 年生から 3 年生まで全学年の生徒が参加しておりました。椅子の背にもたれることなく背筋をピンと伸ばして、しっかりと話を聞く姿勢が大変印象に残りました。

私は、祝辞の中で、かつて石川台中学校の国語教師として 20 数年間勤務され、日本の国語教育を牽引した大村はま先生のお話をさせていただきました。

大村先生は、国語の授業のとき、小さな椅子をいつも用意していて、生徒のそばに座ってグループの生徒たちの話合いに耳を傾け、ときに助言しながら子どもたちの主体的な表現や、考えを引き出す国語の学習を続けられたそうです。

また、大村先生は、常に独自の教材を用意していて、それを風呂敷に包んで教室に持って

いったというお話も聞いています。

こどもたちの思いや考えを聞き出すということで、生徒たちの言葉と心を育てる国語教育、生徒たちに寄り添い尊重する教育は、現在の教育にも生きていっているところだと思います。

主体的、対話的で深い学び、そういうものを実現したもので、国語教育の本質、教育の本質に迫るすばらしい実践であったように思います。

周年行事の後の午後の祝賀会に参加された元校長先生の池田先生から、その後に連絡をいただいた際に伺ったのですが、今回の周年行事の実行委員をされた方が大村はま先生の教え子だったそうです。それで祝辞の中で、大村先生に触れていただいたことを大変喜んでいと伺いました。

大田区には、この石川台中学校の大村先生のように優れた教育実践をされた先生がいらしたという歴史があります。大変ありがたいことだと思います。

現在もおおたの未来づくりなど、新しい教育を開く実践が大田区の先生方の努力で展開されていますけれども、このような先生たちの創造的な教育活動をしっかりと支える取組も教育委員会として行っていきたいと思っております。

石川台中学校が、さらに校風を発展させるとともに、大田区の全ての学校がそれぞれ個性と特色を持って、これからの社会を支え切り開いていくこどもたちが育てられればよいなと思えました。

2点目のご報告は、現在開かれている令和6年第3回定例会の代表質問についてです。私が答えさせていただいた代表質問は5問ありました。

まず、1問目は、コミュニティスクールの取組と今後の展望についてです。コミュニティスクールの実践例としては、調布大塚小学校で地域の方の協力を得て、池を田んぼに改良して、バケツ栽培の稲栽培から本物の田んぼでの稲作に取り組んでいる事例をお話しさせていただきました。

また、多摩川小学校のコミュニティスクールでは、全教員が参加し、地域の方々を含めて100人以上の参加者によるワークショップ形式の開催があったそうです。

地域の方々と教員の方々の意思疎通が図られた事例として大変有意義だったというふう伺っています。

コミュニティスクールの実践が、これからのこどもたちの学びの充実、それから教師の働き方改革などに好影響を与えていることについて答弁させていただきました。

次に、2問目は、タブレット端末における情報管理と今後のICT教育の推進に関する質問にお答えしました。

情報管理については、タブレット端末の保守委託事業者などに管理上必要のない個人情報の閲覧、持ち出しの禁止など、安全なセキュリティ体制を確保していることを答弁させていただきました。

また、ICT教育の推進については、第2期大田区教育ICT推進計画のもとに、大田ICT教育センターにおける500例を超える活動事例の紹介など、各校のICT環境は整いつつあること、ICT活用を通して、さらに探求的体験的な学習活動を充実していくことを答弁させていただきました。

3問目、4問目は、学校給食の無償化及び大田区の学校給食の特徴についての質問でしたが、令和7年度以降も国が実施するまでの当面の間、無償化を実施することや、東邦大

学と連携した食育の推進を図っていくことなどについて答えさせていただきました。

5問目は、こどもたちの健康問題についてでしたが、こどもの生活習慣病については学校の保健の授業などを通して指導していること、健康診断の結果を基に医療等につなげていること、また、東邦大学との連携による食育の推進を図っていくことなど、生涯を通じた健康づくりにつながっていく取組について答弁させていただきました。

これらの答弁を通して、教育委員会の施策について理解を深めていただけたものと思っております。

それでは、私からの報告は以上でございます。

ご質問またはご意見がありましたらお願いいたします。

三留委員、お願いします。

○三留委員

教育長からコミュニティスクールのお話がありました。いろいろな学校で様々な取組があって、地域の方々と交流しているというお話を聞いて、取組がどんどん区内で広がってくるといいなと、お話を聞いて感じました。

それから、学校給食のことについては無償化ということで、当面続くというお話があったので、安心をいたしました。学校給食無償化については、後の動向を見据えてということになりますけども、ぜひ続けていただきたいと思います。

別件で、私のほうからは9月17日に蒲田中学校の指導訪問に同行させていただきましたので、報告いたします。

4校時と5校時の授業参観と分科会、全体協議会の全てに参加をしました。14名の職員のうち8名が、蒲田中学校初任ということで、若い先生がとても多くいましたが、全体的には充実した教育活動がなされていると感じました。

多くの授業が落ち着いた中で行われていて、学級経営、生徒指導がしっかりなされているとも思いました。

指導訪問の重点項目は3点ありました。

1点目は、経験や職層に応じた学習指導力の向上、2点目は、授業改善推進プランに基づいた授業改善のポイントに対する指導の工夫、3点目は、ICT機器を有効活用し、主体的、対話的で深い学びを実現する授業の工夫、この3点です。

このことを意識して、個々の教職員がよく教材研究をして取り組んでいるという印象を受けました。

生徒が「何ができるようになればいいのか」意識して取り組めるように、課題を示したり、ゴールイメージを示したりして取り組んでいる授業が多く、中学校での生徒主体を目指す授業改善が進んでいるという感じがいたしました。

発言の機会があったので、私のほうからは「学級づくり、生徒指導がきちんとしていること」「教材研究をしっかりして取り組んでいること」について、どんなにICTが発達しようとも、この二つが授業を成立させるために最も大切なことであるということを述べさせてもらいました。

ICT活用については、音読練習、書き込んだ意見の共有や集約、動画撮影など教科ごとに多様な使い方がされていました。技術分野では、「情報の技術」そのものの授業があ

るわけですが、表計算処理ソフトウェアの習熟を図る授業をしておりました。

単に表計算処理ソフトの扱い方を指導するというだけでなく、野球に関わる自作教材により、データから考察する学習をさせていました。さらに、プレゼンテーションソフト、表計算ソフト、ワープロソフトを関連させたプレゼンテーションシートを作成するなど、高度化へのビジョンを生徒に持たせるように促す展開となっていました。

思考力、表現力を高めるために、ICTの様々な取組が進んでいると感じました。

分科会と全体会では、自評や分科会報告のほか、指導企画課長、指導主事、ICT専門員が授業の画像などを基に、講師も含め、一人ひとりの教職員の授業の価値づけや改善点などについて具体的な指導をしておりました。

それぞれの教職員が自分の取組のよさや、改善点を実感できたのではないかと感じました。

学校改善への支援、教職員の指導力向上を図るための指導訪問の意義を感じ、今後も指導訪問の一層の充実を期待しているところでございます。

○教育長

ほかにご意見はありますでしょうか。

○高橋委員

私から2点、報告いたします。

三留委員と一緒に蒲田中学校の指導訪問に参りました。日本語学級もあり、自閉症・情緒障害特別支援学級の開設を予定している学校でしたので、とてもよい機会をいただいたと思います。

当日は、「タブレットと主体的な授業」を全教室参観させていただきました。

三留委員もおっしゃったように、新任の先生が多いということをお聞きしていましたが、各クラスとも活気のある授業でした。校長先生の先生方に向けたサポートが、とてもよいと感じました。

分科会での統括指導主事、指導主事、専門員の指導も充実していて勉強になりました。

特別支援学級のひだまりルームの手前に、スマイルルームという部屋を設けて、教室に行けない子たちの居場所をつくっておられて、生徒にとってとても居心地がよい部屋に改装されて、入り口も独自の玄関があって、よい取組だと思いました。

2点目は、石川台中学校の開校70周年記念式典と祝賀会です。

オープニングの生徒有志の合唱、記念歌の「僕らの歌」など、生徒の歌声がすばらしいものでした。

シンボルツリーのけやきが改築の際は伐採されますが、同窓会の記念品として再生されると聞き、うれしく思いました。

式典の第二部は、生徒の進行でスライド上映や新しい標準服の披露はとても楽しいものでした。

池上会館での祝賀会は、地域の方や先生方など多くの方が集まり、けやきの子と言われている生徒手作りのくす玉、卒業生3人のダンスなど、心和む会でした。

○教育長

ほかにご意見はありますでしょうか。

○深澤委員

私は、8月22日に大田区内の中学2年生のうち、希望者が参加した東京グローバルゲートウェイの英語プログラムに同行いたしました。

省略してTGGといますが、TGGでは現実に近い場面設定で、海外での生活や日常の場면을疑似体験することができます。

プログラムの最初は、七、八人のグループに1人のネイティブスピーカーがつき、自己紹介や簡単なゲームを行い、アイスブレイクします。このときはまだ緊張している生徒さんが多かったようですが、次のプログラムであるレストランやマジックアイランドへの旅行計画を立てるため訪れるトラベルエージェンシーでは、ネイティブスピーカーのジョークに笑いが炸裂し、生徒さんたちには笑顔があふれていました。

最後のプログラムであるグループ学習では、紙飛行機を飛ばしたり、TGGの提携先であるオーストラリア、クイーンズランド州に関するものを部屋の中で探してみるなどの経験を伴うもので、皆さん真剣に取り組んでいる様子が印象的でした。

TGGでは、間違えてもいいから英語で話してみようということを約束事としていました。

実際、生徒の文法が間違っていたり、適切な会話じゃなくても、正しい文章を言い直させることなく会話を成立させ、次の話題に進んでいました。

学校では間違えず、正しい文章を話すことが命題ですので、学校とTGGの大きな違いは、間違えてもいい、間違えても直されないという点です。

TGGの方によると、日常会話では、相手が文法を間違えても間違いを指摘することはせずに、何となく文意を酌み取って会話を続けるので、TGGでも通常の会話を生徒たちに楽しんでもらえるように、そうしているということでした。

私には、その一工夫が生徒たちの伸びやかで楽しい雰囲気や笑顔につながっているように感じました。

生徒たちは、学校で学んだ知識を使って、ネイティブスピーカーと会話のやり取りを実践することで、英語を学ぶことの意義を知り、英語や国際交流の楽しさを実感したものと思います。

大田区における英語教育にTGGのノウハウを入れて実践的な英語が身につくよう研究していただきたいとともに、本事業を希望者のみではなく、多くの生徒たちに体験してもらい、英語の楽しさを学んでほしいと思いました。

○教育長

ほかにご意見はありますでしょうか。

○弘瀬委員

23日大森医師会診療所で朝9時から夕方5時まで休日診療を行なっていました。大田区の同じ中学でコロナが流行していました。翌日から試験だということでテストが受けら

れるかどうか心配していました。5類になったので、それは校長の判断になると思いますとお話をしました。

コロナはまだまだ流行していますので、やはり注意しながら生活していただければと思っています。

それから、本日第66回大田区立小中学校の特別支援学級の連合運動会に行ってみりました。

大森スポーツセンターで行われます。今年は3日間に分けての運動会とのことでした。

本日診療の合間に行ってきました。連合運動会は特別支援学級の児童にとって大変意味のあるものと思います。このような機会を通じて、身体的な成長だけでなく、心の成長にもつながっていったらいいと考えています。

大事な授業の一つだと思っていますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。以上2点です。

○教育長

ありがとうございました。

ほかにご意見、ご質問はありますか。

よろしいですか。

それでは、これをもちまして、令和6年第9回定例会は閉会いたしたいというふうに思います。

ありがとうございました。

令和6年 第9回 教育委員会 定例会 9月25日(水) 午後2:00～

教育委員会室

<教育長の報告事項>

<部課長の報告事項>

教育総務部長

参事（教育施設担当）

教育総務課長

教育施設担当課長

副参事（教育地域力担当）

副参事（教育施設調整担当）

学務課長

指導課長

指導企画担当課長

学校支援担当課長

教育センター所長

幼児教育センター所長

大田図書館長

令和6年9月25日

令和6年第9回教育委員会定例会日程

日程第1 教育長の報告事項